

# ① 広範な交流・連携の促進

<b>拡充</b>	<b>ぶり奨学プログラム事業費</b>	<b>599万円</b>
		(前年度) 346万円
<b>担当課</b>	<b>地方創生推進課</b>	<b>電話番号</b> 74-8011


**1. 本市の現状と課題**  
 大学等への進学時に氷見市を離れ、そのまま戻らない若者が多く、人口減少の要因の1つとなっています。氷見市で育った子供たちが更なる成長のために進学し、氷見市に戻ってふるさとの未来のために活躍できるよう、学生と仕事を結び付け、Uターンを促進する必要があります。

**2. 平成31年度事業の内容**  
 ぶり奨学プログラムの6つの取り組みを推進し、その中でも、若者のUターンの重要な要素である仕事について支援する仕組みを構築します。また、平成29年度から平成31年度までの社会実験として実施している「ぶり奨学プログラム」の平成32年度以降の方向性を決定します。

**3. 目標値または実施により求める効果**  
 ぶり奨学プログラムがあったことによって氷見市に戻ってくる若者の人数を増やします。

(単位: 万円)

財源	基金繰入金	141	経費内訳	補助及び交付金	526
	市の負担	458		食糧費	31
				その他	42



<b>拡充</b>	<b>ふるさと定住促進事業費</b>	<b>7,654万円</b>
		(前年度) 6,725万円
<b>担当課</b>	<b>地域振興課</b>	<b>電話番号</b> 74-8075


**1. 本市の現状と課題**  
 本市では、少子化の進行や転出超過により急激な人口減少が進んでおり、若年世帯や子育て世帯の定住率の向上や、市外からの移住者の増加による社会減の圧縮が喫緊の課題となっています。このため、主に住まいの分野において移住者や若者、子育て世帯への支援を行うことにより、定住人口の拡大を目指しています。

**2. 平成31年度事業の内容**  
 若者の住宅取得や三世帯同居・近居のための住宅取得に要する経費への助成のほか、移住者の住宅取得や住宅の賃貸等に要する経費を助成します。今年度から市内在住の40歳以上の子育て世帯や新婚世帯にも対象を拡大するとともに、医療・介護・保育人材等も引き続き支援し、移住・定住を促進します。

**3. 目標値または実施により求める効果**  
 市民の転出の抑制と転入者の増加による社会減の圧縮を図ります。  
 (Uターン者35名の獲得を含む社会減150名の圧縮)

(単位: 万円)

財源	国の負担	108	経費内訳	補助及び交付金	7,038
	市の負担	7,546		報償費	500
				負担金	116



# ① 広範な交流・連携の促進

継続	移住定住促進事業費	<b>2,248万円</b>			
		(前年度)	2,968万円		
担当課 地域振興課		電話番号	74-8075		
<p><b>1. 本市の現状と課題</b></p> <p>氷見市では、人口減少問題に対応し、市民の希望をかなえ持続可能な社会を実現していくために、氷見市人口ビジョンを策定し、出生率の向上と年間150人の社会減の抑制を目指します。その方策の一つとして、移住者（ターン者、Jターン者）を新たに呼び込むことを重点に、移住定住の促進に取り組む必要があります。</p> <p><b>2. 平成31年度事業の内容</b></p> <p>移住相談の総合窓口として「氷見市IJU応援センター」を開設し、移住希望者が安心して移住し、定着できるよう総合的にサポートします。また、東京等で開催される回帰フェア等のイベントに参加し、当市の魅力を伝えるとともに、氷見市版「ふるさとワーキングホリデー」を実施し、氷見市と関わってくれる関係人口を増やします。</p> <p><b>3. 目標値または実施により求める効果</b></p> <p>移住者（IJターン者）年間35人の増加を目指します。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	2,248	経費内訳	報償費	1,085
				委託料	1,067
				その他	96



新規	地方創生移住支援事業費	<b>852万円</b>			
		(前年度)	-		
担当課 地域振興課		電話番号	74-8075		
<p><b>1. 本市の現状と課題</b></p> <p>若者を中心に地方から東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県(以下「東京圏」という。)への転出超過が続くとともに、地方において中小企業を中心に人手不足感が高まっています。</p> <p><b>2. 平成31年度事業の内容</b></p> <p>東京23区にお住まいの方又は東京圏にお住まいで東京23区へ通勤していた方が当市に移住し、中小企業等に就業又は起業した場合に移住支援金を支給します。</p> <p><b>3. 目標値または実施により求める効果</b></p> <p>UIターンによる起業及び就労の創出を図ることで、更なる移住定住を促進します。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	639	経費内訳	補助及び交付金	840
	基金繰入金	200		消耗品費	12
	市の負担	13			



# ① 広範な交流・連携の促進

<b>継続</b>	<b>国際交流推進事業費</b>	<b>10万円</b>
		(前年度) 10万円
<b>担当課</b>	<b>総務課</b>	<b>電話番号</b> 74-8024
<b>1. 本市の現状と課題</b>		
<p>交通手段や通信技術の飛躍的な発達に伴い、世界中の人々との距離がますます近くなっています。本市に在住する外国人や仕事で来訪する外国人は今後増え続けると考えられ、それに対応できるよう多種多様な国の人々と広範囲な国際交流の推進や外国人の社会参加を促す仕組みづくりが求められています。</p>		
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>		
<p>国際交流協会と連携して、市民の国際感覚を養うための事業を実施するほか、市内在住外国人のための日本語教室を行います。</p>		
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>		
<p>国際交流イベント(目標参加者数540人)や市内在住外国人に日常会話を教える日本語教室(目標参加者数95人)等を開催し国際交流を推進します。</p>		
		(単位:万円)
財源	市の負担 10	経費内訳 負担金 10



クリスマスパーティの様子

<b>継続</b>	<b>浅野総一郎翁ゆかりの都市等交流推進事業費</b>	<b>172万円</b>
		(前年度) 159万円
<b>担当課</b>	<b>商工観光課</b>	<b>電話番号</b> 74-8036
<b>1. 本市の現状と課題</b>		
<p>北陸新幹線開業により首都圏との交流人口が拡大しており、また、都市間競争が激化しています。このような中、「九転十起の男」と呼ばれる郷土が生んだ大実業家、浅野総一郎ゆかりの都市や企業との交流を拡大させることが重要となってきています。</p>		
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>		
<p>川崎市のかわさき市民祭りへの出店参加や、九転十起交流会によるひみ寒ぶり交流会(川崎市、横浜市)の開催支援など、浅野翁ゆかりの都市などとの交流促進を図ります。</p>		
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>		
<p>浅野翁の功績を顕彰する機運を高めるとともに、ゆかりの都市や企業とのつながりを広げます。</p>		
		(単位:万円)
財源	市の負担 172	経費内訳 旅費 112 消耗品費 52 使用料及び賃借料 8




「九転十起の男」浅野総一郎

# ① 広範な交流・連携の促進


<b>継続</b>	<b>都市と農山漁村交流促進事業費</b>	<b>25万円</b>				
		(前年度)	25万円			
<b>担当課</b>	<b>商工観光課</b>	<b>電話番号</b>	<b>74-8036</b>			
<b>1. 本市の現状と課題</b>						
氷見市の人口減少問題を解消するため、田舎暮らしを希望している都市住民に対し、氷見市への移住を促進していく必要があります。						
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>						
幅広い世代から塾生を募集し、氷見市の海と山の豊かな地域資源を体感してもらい、とやま帰農塾(灘浦塾)を継続して実施します。						
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>						
田舎暮らし体験を希望する都市住民との交流を通して、氷見市のファンを増やし移住につなげることで地域の活性化を図ります。						
(単位: 万円)						
財源	市の負担	25		経費内訳	委託料	25

<b>継続</b>	<b>「とやまの田舎」交流支援事業費</b>	<b>40万円</b>				
		(前年度)	80万円			
<b>担当課</b>	<b>商工観光課</b>	<b>電話番号</b>	<b>74-8036</b>			
<b>1. 本市の現状と課題</b>						
過疎化が進んでいる氷見市の中山間地域を活性化するためには、都市部にはない田舎の魅力を伝え、観光客等を誘致することが重要です。						
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>						
仏生寺(脇之谷内)地区での都市住民との交流活動に対し助成します。						
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>						
氷見の地域資源の魅力を、都市部の幅広い世代にPRすることで、関係人口の増加を図ります。						
(単位: 万円)						
財源	県の負担	20		経費内訳	補助及び交付金	40
	市の負担	20				

# ① 広範な交流・連携の促進

<b>継続</b>	<b>スポーツ少年団交流事業費</b>	<b>52万円</b>
		(前年度) 52万円
<b>担当課</b>	<b>スポーツ振興課</b>	<b>電話番号 74-8446</b>
<p><b>1. 本市の現状と課題</b></p> <p>姉妹都市(長野県大町市、静岡県島田市)のスポーツ少年団と交流を深めるため、昭和63年度から各市持ち回りで交流事業を行っています。</p>		
<p><b>2. 平成31年度事業の内容</b></p> <p>8月16日から2泊3日で静岡県島田市を会場として団員、指導者の交流を行います。</p>		
<p><b>3. 目標値または実施により求める効果</b></p> <p>氷見市が姉妹都市である両市スポーツ少年団との交流を続け、交流人口の増大、スポーツの振興を図ります。</p>		
(単位: 万円)		
財源	市の負担 52	経費内訳 委託料 52
		 <p>平成30年度の大町市での交流事業</p>

## ② 国際化の推進と多文化共生の社会づくり

<b>継続</b>	<b>定置網漁業国際協力事業費</b>		<b>72万円</b>
			(前年度) 81万円
<b>担当課</b>		<b>水産振興課</b>	<b>電話番号</b> 74-8102
<b>1. 本市の現状と課題</b>			
<p>水産業振興のため、世界に誇れる越中式定置網漁法について国内外にPRすることで、氷見の漁業のすばらしさ、氷見の魚の品質の良さを広く知らしめる必要があります。また、国際協力・国際感覚の育成の観点から、JICA(国際協力機構)の研修生、インドネシア実習生の受入れに対し、協力しています。</p>			
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>			
<p>外国人技能実習生受入支援、「資源管理型漁業コース」JICA研修員の受入(JICA北陸)、 「食料安全保障と貧困撲滅のための持続可能な小規模漁業コース」JICA研修員の受入(JICA横浜)等を行います。</p>			
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>			
<p>国際協力を通して、漁業の活性化、地域の活力を創出します。</p>			
(単位:万円)			
<b>財源</b>	市の負担	72	<b>経費内訳</b>
			補助及び交付金 72
			 <p>JICA研修員の表敬訪問の様子</p>